テクノポリスだより

Vol.177

公益財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構

令和６年12月１日

ものづくりインキュベーションセンター新規入居企業紹介

≪令和6年10月4日入居≫

株式会社アイアールメディカル工房

(本 店)
〒963-1165 福島県郡山市田村町徳定字中河原1-1
日本大学工学部キャンパス内
郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター8号室
TEL：080-3193-0027
E-mail：info@irmedical.pro
URL：https://irmedical.pro/
(埼玉営業所)
〒343-0044 埼玉県越谷市大字大泊574番地3

－ 業 種 －

医療機器の開発･製造･販売

代表取締役 河邊 大輔

－ 代表者からの一言 －

弊社は、脳神経外科を中心に医療ニーズに基づく治療及び健康器具の開発から製造、承認取得、販売まで幅広くサポートさせて頂いております。

また、脳外科だけに留まらず幅広い診療科への対応も可能です。数少ない「試作屋」の立ち位置を取りながらもステントの様な難易度の高いクラス4の高度医療機器から健康器具まで幅広くサポートさせて頂きます。

広域連携産業支援ネットワーク構築事業(福島県委託事業) 第3回ワークショップ開催報告

第3回ワークショップでは、プレゼン企業5社に参加頂き、質疑応答が行われたほか、そのマッチングの方向性についてコーディネーター間で積極的に意見交換が行われました。さらに、福島県ハイテクプラザからは、マッチングで明らかとなった技術課題に対する支援案件についての結果報告が行われました。

◆第3回ワークショップ(令和6年10月31日(木) Web開催)
◆参加者45名(県2、支援機関12、自治体6、アドバイス機関9、企業6、事務局10)
◆内容 ①企業プレゼン5社(福島1、郡山1、会津1、いわき2)
②企業発表(提案)に対するマッチングの方向性確認
③ハイテクプラザによる技術支援案件結果報告

【事例報告】

一昨年度(有)福島熔材工業所(福島市)が本事業に提案した「タングステン材の微細加工での連携」について、マッチングの前提となる技術的課題(供給材料の強度的バラつき)解決をハイテクプラザが開発支援事業(無料)に採択して取り組んだ結果、タングステン板材に合金組織の違い(粒状と層状)があり、前者は加工中に破損しやすいことが分かりました。また、切削速度と加工面性状、工具摩耗に関する知見も得られました。この結果を受けて、当該企業では簡易強度試験による適正部材の選定と切削加工条件の適正化に取り組んでいます。

【事業スキーム】

企業エントリー → 企業プレゼン(コーディネータ向け) → コーディネータによる連携先探索 → マッチング → 連携開始

【事業統括コーディネーターからのコメント】

ワークショップでは、通常のマッチングのほか、技術的課題に対応するため、ハイテクプラザに技術支援をして頂くなど、次のステップアップにつなげる取組も行われるようになり、本ワークショップの取組の幅が広がってきました。今後も引き続き企業の皆様の様々な技術的状況に対応した発展的取組ができるように工夫してまいります。

第2回 DXセミナー 開催報告

郡山地域ニューメディア･コミュニティ事業推進協議会

11月6日(水)に郡山地域ニューメディア･コミュニティ事業推進協議会主催の第2回DXセミナーを開催しました。「生成AIで実現するDX ～業務領域での生成AIの実用化のために～」と題して、日本マイクロソフト(株)の大川氏と福島コンピューターシステム(株)の五十嵐氏にご登壇いただき、約1時間半に渡り、生成AI開発の歴史や自社事業で活用するための具体的な方法、安全に活用するための注意点などを学びました。また、質疑応答も活発に行われ、生成AIに対する参加者の関心の高さが伺われました。

WEBセミナーの様子

須賀川方部アドホック研究会による海外視察研修　報告

11月1日から6日にかけて、須賀川方部アドホック研究会では海外視察研修を実施しました。今年度はタイを訪問し、JETROバンコクよりタイの政治経済や生活状況、今後の課題等について聴取したほか、日系企業の現地工場を視察しました。

タイはASEAN諸国の中でも有数な経済成長を遂げており、首都バンコクは活気に溢れていました。その一方で、経済成長のスピードに社会インフラの整備が追い付かず、慢性的な交通渋滞や地域格差といった課題も生じています。

現地工場ではわずかな日本人スタッフの中で、高品質の製品を生産し続ける現場を視察させていただきました。言葉や文化の壁を試行錯誤して乗り越えてきた経過を見聞して、改めて海外進出のハードルの高さを実感させられました。

サステナブル地域づくりフォーラム　開催報告

11月12日に日本大学工学部50周年記念館(ハットNE)において、サステナブル地域づくりフォーラムを開催しました。11回目の開催となる今回は、「次世代への持続可能な地域づくりを目指して」と題して、私達の生活を支える重要なインフラのひとつである鋼橋の現状、点検方法や課題、そして新たな試みといった様々な観点を日本大学工学部の4人の講師陣にそれぞれの専門分野から講演をいただきました。

特に、情報工学科の中村和樹准教授による「鋼橋の腐食検出支援のための持ち運び容易なAIカメラの開発」については、既に顕在化している人手不足がさらに深刻化する将来において、重要なツールになると大きな注目を集めています。参加者は中村准教授の講演に興味深く耳を傾けると同時に、大きな期待を寄せていました。

当日は産官学の各分野から70名以上の方々にご参加いただきました。ご参加いただいた皆様には心より感謝いたします。

【コラム】郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議会員企業から

東成イービー東北株式会社

【会社創業の経緯】

東京で創業し27年目まで東京をメインに操業していましたが、工場敷地が手狭になり、関東100キロ圏で好立地がなく、200キロ圏までで探した結果、福島県、中小機構、郡山市の手厚いサポートを受け進出に至りました。(30期節目のチャレンジでした)当初は郡山テクニカルセンターとしてスタートしましたが、福島の県民性で着実な成長を遂げ、独立採算制をできるレベルに成長し分社化子会社化しました。

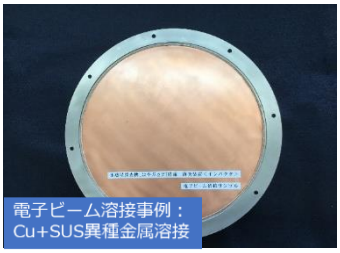
【現在の事業内容】

弊社は、高エネルギービーム加工に特化した、電子ビーム溶接、レーザ加工の受託加工をメインとしております。他の溶接工法では難しい異種金属溶接(※写真参照)や溶接強度の高い熱歪みの少ない溶接などが可能で、様々な産業の部品加工を行っています。また、超短パルスレーザ加工機によるミクロンオーダーの切断・穴開け・溝加工等や、レーザ技術を応用し自社開発したレーザクリーニング装置販売を行っています。

【今後の目標】

現在試作開発支援がメイン業務になりますが、今後は開発要素の高い案件だけでなく試作から量産まで、一気通貫で手掛ける会社になることが目標となります。また親会社とは異なる子会社独自の自社製品を開発し、更に自動化システム可能な設計レベルの技能向上も併せて実現します。最終的には加工業からメーカーになることが目標であり、地球の未来に貢献できる企業を目指して精進していきたいと考えます。

HPのQRコード



電子ビーム溶接事例：
Cu+SUS異種金属溶接

東成イービー東北株式会社
代表取締役社長　上野邦香

発行元　(公財)郡山地域テクノポリス推進機構／郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会
TEL 024-947-4400 FAX 024-947-4475 E-mail techno@nm.net6.or.jp
郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター
TEL 024-926-0344 FAX 024-943-4441 E-mail monodukuri@nm.net6.or.jp